



第146回 定期公演

神戸市室内管弦楽団

Kobe City Chamber Orchestra



定期演奏会

新しい音楽への希求、3つの世紀それぞれの場合

指揮
石川 星太郎
Seitaro Ishikawa



ピアノ
久元 祐子
Yuko Hisamoto
©酒寄克夫



新天地を模索するアマデウス、 “19世紀のモーツァルト”の偉業

F.メンデルスゾーン *F. Mendelssohn*

序曲「夏の夜の夢」作品21、MWV P3
A Midsummer Night's Dream Overture, op.21, MWV P3

W.A.モーツァルト *W. A. Mozart*

ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調
「ジュナミ」KV 271
Piano Concerto No.9 in E-Flat Major, KV271, "Jenamy"

F.メンデルスゾーン *F. Mendelssohn*

交響曲 第3番 イ短調
「スコットランド」作品56、MWV N18
Symphony No.3 in A Minor, op.56, MWV N18, "Scottish"



東京
公演

2019.3.22 [金] 開演19:00(開場18:30)
紀尾井ホール

神戸
公演

2019.3.24 [日] 開演14:00(開場13:30)
神戸文化ホール 中ホール

入場料 **全席指定** 一般 4,000円/U25(25歳以下) 1,000円 **発売日:友の会先行 11/11(日)10:00~/一般 11/18(日)10:00~**

チケット
販売場所

- 神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349
- カジモト・イープラス <http://www.kajimotoeplus.com>(東京公演のみ) 0570-06-9960(※オペレータ対応 10:00~18:00)
- 紀尾井チケットセンター TEL.03-3237-0061 <http://www.kioi-hall.or.jp/tickets>(東京公演のみ)
- チケットぴあ TEL.0570-02-9999[Pコード:129-035] ●ローソンチケット TEL.0570-048-005[Lコード:55820]
- CNプレイガイド 0570-08-9999 ●イープラス <http://eplus.jp> ●神戸国際会館プレイガイド TEL.078-230-3300(神戸公演のみ)

※金額は税込です。※U25チケットは神戸文化ホールプレイガイド及び紀尾井チケットオフィスでの取り扱いです。ご購入の際は、年齢確認のできる証明書をご提示ください。
※やむを得ず、出演者・プログラムを変更する場合があります。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

後援 神戸モーツァルトクラブ
助成 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
お問い合わせ
(公財)神戸市民文化振興財団
TEL 078-361-7241



1777年、少年時代からヨーロッパ各地を旅して望みうる最高の、そして最先端の音楽専門教育を受けてきたモーツァルトは、ザルツブルクでの宮仕えという狭い世界にはとても収まりきらないコスモポリタンな芸術家に成長していた。

この年の1月に書かれた《ピアノ協奏曲KV271》は、ザルツブルクを訪れていたフランスの女性クラヴィア奏者「ジュナミ嬢」の注文であると伝えられ、今日でも《ジュナミ》と呼ばれ親しまれている。この女性奏者が誰なのかは長年謎であったが、ローレンツという研究者の発見で、2003年によりやく正式な名前や経歴がわかった。彼女はノヴェールという舞踏家の娘で、正しくはルイズ・ヴィクトワール・ジュナミといった。父がウィーン宮廷に雇われたのでともに移り住み、裕福な商人ヨーゼフ・ジュナミと結婚した。

モーツァルトは恐らく1773年のウィーン旅行の折に父娘と知り合い、彼女の演奏を聴いたと思われ、その後彼女がザルツブルクで協奏曲の楽譜を受け取ったと推察できる。彼らは1778年にパリで再会し、父ノヴェールの依頼で、モーツァルトはバレエ音楽も書いている。

KV271ではモーツァルトの独創性が発揮され、第一楽章が始まってすぐにピアノが弾き始める書き方や、モーツァルトの協奏曲で初めて緩徐楽章が短調で書かれていること、ロンド・フィナーレの中間部にメヌエツが挿入されていることなど、新しい作風の試みが随所にみられる。

大司教コロロドとの緊張した関係の糸が切れる寸前の時期のこの作品は、後に自作自演のピアノ協奏曲でウィーンの寵児となる天才アマデウスの姿を、すでに暗示しているかのようだ。

“19世紀のモーツァルト”とシューマンに例えられたメンデルスゾーンもまた、夭折の天才音楽家であった。

父方からも母方からも多くの才能豊かな人材を輩出した家系の出身で、バッハ父子以来のベルリンの音楽伝統を師ツェルターから受け継ぎながら、幼少のころから並外れた才能を見せた。

父方の伯母ドロテアの夫は、シェークスピアのドイツ語翻訳者として有名なフリードリヒ・シュレーゲルであることから、いち早く子供時代にシェークスピア劇に興じたメンデルスゾーンが、最初の成功を序曲《真夏の夜の夢》で収めたことに何の不思議もない。モーツァルトのように各国を旅行しながら豊かな感性で学びを深め、国際的な音楽家へと成長していった。

かなり早い時期から対位法に習熟し、大バッハやモーツァルトを範としつつ、独自の表現法を磨きドイツ・ロマン派の創始者となった。

指揮棒を使う近代的な指揮法を確立し、ヨーロッパ第一級の指揮者、そしてピアニストとして広く名をとどろかせていたメンデルスゾーンは、1835年、26歳でライプツィヒのゲヴァントハウス管弦楽団の楽長に就任し、数々の改革もやってのけた。初回りハーサルから指揮者が参加することを就任受諾の条件として、この楽団をヨーロッパ第一級のオーケストラに育て、それだけではなく、楽員の待遇の改善、意欲的なプログラミングによる演奏会シリーズの企画、楽団のレベルを高く保つために書かせない後進の育成のために、ドイツ最初の音楽専門教育機関まで設立した功績の大きさは計り知れない。

彼の指揮するゲヴァントハウス管弦楽団で、シューマンを始め同時代の作曲家たちの作品が次々と初演された。もちろん彼の《スコットランド交響曲》も。

自作ばかりに力を入れず、大バッハやモーツァルトなど、死後しばらくの間忘れられていた大家の作品を紹介することに努め、彼らの芸術的な価値を再び人々に認識させることにも類まれなる才能を発揮した。

1836年1月に彼がモーツァルトの《ピアノ協奏曲KV466》を自らのカデンツで演奏して大成功を収めたとき、終演後に年配の楽員が彼に言ったことを、姉ファニーへの手紙に書いている。

「この同じホールで、モーツァルトの演奏(1789年)を聴いたことがありますが、それ以後、このような素晴らしいカデンツを誰も弾いたことはありません…」と。

ミュージック・アドバイザー 菅野ボッセ美智子

新天地を模索するアマデウス、“19世紀のモーツァルト”の偉業



指揮 石川 星太郎

Seitaro Ishikawa

1985年東京生まれ。ドイツ・フライブルク国際ピアノアカデミーに2年にわたり参加。東京藝術大学指揮科で田中良和、ハンス＝マルティン・シュナイトに師事。同大学を首席で卒業。アカンサス音楽賞受賞。2006年武生国際音楽祭にて、ジャパンアカデミーフィルハーモニックを指揮し、ヴィオラの今井信子などと共演。以降、同音楽祭のレギュラーメンバーとなる。また、今は亡き巨匠ゲルハルト・ボッセの薫陶を得、アシスタントとしての任も担った。現在はロベルト・シューマン大学デュッセルドルフ・指揮科でリュディガー・ボンに師事。2013年3月、神戸市室内合奏団の定期演奏会(神戸と東京公演)で、格調高いモーツァルトとシューベルトを披露し、成功を収めた。続く2014年3月の定期演奏会にはミハエル・ハイドンのレクイエムを指揮し、高い評価を得た。その後、読売日本交響楽団での客演を始め、日韓外交正常化50周年記念合同オーケストラの指揮者に抜擢されるなど、活動の幅を着実に広げている。2016年、ギリシャで行われた第1回メンデルスゾーン国際指揮コンクールにおいて第2位を受賞した。



ピアノ 久元 祐子

Yuko Hisamoto

東京藝大を経て同大学院修了。ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。ブロードウッド(1820年製)、ベーゼンドルファー(1829年製)、ブレイエル(1843年製)、エラール(1868年製)などのオリジナル楽器を所蔵。歴史的楽器を用いたの演奏会や録音にも数多く取り組む。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。「優雅なるモーツァルト」(レコード芸術特選盤、毎日新聞CD特選盤)などCD13作をリリース。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)他多数。国立音楽大学教授、日本で唯一のベーゼンドルファー・アーティスト。

<http://www.yuko-hisamoto.jp/>



神戸市室内管弦楽団 Kobe City Chamber Orchestra

1981年設立。バロックから近現代までの幅広いレパートリーのほか、埋もれた興味深い作品にも意欲的に取り組み、質の高いアンサンブル活動を展開。1998年、ゲルハルト・ボッセを音楽監督に迎え、飛躍的な発展を遂げるとともに、2011年にはドイツ公演を行うなど、国際的にも注目を集めている。2013年度からは、日本のアンサンブル界を牽引した岡山潔が音楽監督に就任。ボッセ前音楽監督の高い理念を引き継ぎ、合奏団から室内管弦楽団への移行をはじめとする当団の更なる発展に尽力した。2018年4月より「神戸市室内管弦楽団」と改名し、新たな活動を展開している。

会場付近地図

紀尾井ホール

〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町6-5
TEL: 03-5276-4500(代表)
FAX: 03-5276-4527

- 四ツ谷駅(JR線・丸の内線・南北線) 徒歩6分
- 麹町駅 2番出口(有楽町線) 徒歩8分
- 赤坂見附駅 D出口(銀座線・丸の内線) 徒歩8分
- 永田町駅 7番出口(半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分



神戸文化ホール

〒650-0017
神戸市中央区楠町4-2-2
TEL: 078-351-3535
FAX: 078-351-3121

- 大阪駅から約25分 (JR神戸駅)
- 西宮北口駅から約20分 (高速神戸駅)

プレトークのご案内

神戸市室内管弦楽団の定期演奏会では、開演前のホワイエにて、ミュージック・アドバイザー菅野ボッセ美智子によるプレトークを行っております(13:35~)。奮ってご参加ください。※神戸公演のみ

【無料託児サービスのご案内(神戸公演のみ)】

当公演は、無料託児サービスを実施いたします。

- ① 利用時間: 13:30(開場時)~終演の20分後まで
- ② 託児対象: 1才~就学前まで
- ③ 申込期間: チケット発売日~3月8日(金)
- ④ 定員: 10人(先着順)
- ⑤ お申込み方法: 下記までお電話にてお申し込みください。

《お問い合わせ》(公財)神戸市民文化振興財団 事業部 演奏課 TEL:078-361-7241